

MITSUBISHI

Changes for the Better

三菱 グラフィックオペレーションターミナル

めざす最上級がある **est!**

GRAPHIC OPERATION TERMINAL

GOT1000



表示器ではない。GOTで、ある。

GRAPHIC OPERATION TERMINAL GOT1000

この製品を製造している三菱電機(株)名古屋製作所および姫路製作所は、環境マネジメントシステムISO14001、および品質システムISO9001の認証取得工場です。





応える使命がある。切り拓く使命がある。 次世代ビジョンを映し出すGOT1000、いよいよ。

機能だけで、美しさだけでなく、真にユーザの皆さまの声を機能が発想した時、表示器はどこまで進化できるだろう？

単に目新しさを競うのではなく、真にユーザの皆さまの声を機能が発想した時、表示器はどこまで進化できるだろう？

この解答として、FAの現場で培ってきた三菱電機の技術と経験を結集し送り出す次世代のスタンダード...それが、「GOT1000」です。

応答・表示・接続性といった表示器の基本を置き上げるとともに、一歩進んだ生産性・作業性の実現に向けて

多彩なアイデアと機能を盛り込みました。そのユーザビリティで新たな価値を創造する「GOT1000」...

シーケンサのみならず、あらゆるFA機器との接続性を強化しながら、皆さまのグローバル競争力を加速させていきます。

INDEX

コンセプト	2
ラインアップ	4
特長とおすすめポイント	
設計者をサポート	8
オペレーター作業をサポート	19
立ち上げ・調整作業をサポート	20
保全作業をサポート	22
ハンディGOT	26
接続可能な機種一覧	28
接続構成	32
バス接続	38
仕様	48
外形寸法	50
機種別機能一覧	52
ご使用時の留意事項	54
機器一覧	56
保証とサービス	60

GOTという、オンライン・ワン・ブランドへ。

三菱電機のGOTシリーズは、これからもユーザの声を積極的に取り入れながら、次世代の表示器として進化していきます。「一めさず向上感があるest!」は、そうした三菱電機の決意を込めずローガンです。

めさす 向上感がある est!



すべての機種に、一貫コンセプト。
磨かれた基本性能こそ、GOT1000シリーズらしさです。

GRAPHIC OPERATION TERMINAL GOT1000

ユーザひとりひとりの声をもとに、まず基本性能を磨きあげる。その上で必要と信じた機能をハイレベルに積み上げていく…。この「GOT1000」シリーズの開発姿勢に、スタンダードモデル「GT11」、フルスペックモデル「GT15」の区別はありません。「GOT1000」シリーズとしての応答性、鮮やかな表現力、そして接続性は、「GOT1000」シリーズのすべてのラインアップに一貫して反映されています。

GOT1000 共通基本性能

描画・演算・通信 三位一体の超高速応答

- 描画…超高速描画チップ搭載 (GT15のみ)
- 演算…高速演算パフォーマンスを実現
- 通信…バス接続 (GT15のみ)・
RS-232通信 (最大115.2kbps)



美しく、 表現力豊かな画面

- 65536色フルカラー (GT15)
- モノクロ (白/黒) 16階調 (GT11)
- メモリ容量大幅アップ



USBインターフェース 標準装備&前面配置

- 当社従来比で最大約20倍の
高速データ転送
- 前面配置により作業効率アップ



あなたの声に応える機種が、きっとある。 ユーザビリティを貫いたGOT1000、全19機種。



スタンドアロンユースとして、 基本機能を充実させたスタンダードモデル

5.7 型 STN GT1155-QSBD (DCタイプ)

解像度：QVGA 320×240
表示色：256色



特長

- 256色
- 縦置き表示
- トランスペアレント
- システムモニタ
- A/FXリスト編集

標準I/F・標準メモリサイズ

- USB
- RS-232
- RS-422
- CFカードI/F
- メモリ3M

接続形態

- CPU直接接続
- 計算機リンク
- CC-Link

*1

5.7 型 STN GT1150-QLBD (DCタイプ)

解像度：QVGA 320×240
表示色：モノクロ16階調



特長

- モノクロ16階調
- 縦置き表示
- トランスペアレント
- システムモニタ
- A/FXリスト編集

標準I/F・標準メモリサイズ

- USB
- RS-232
- RS-422
- CFカードI/F
- メモリ3M

接続形態

- CPU直接接続
- 計算機リンク
- CC-Link

*1

5.7 型 ハンディGOT/STN GT1155HS-QSBD (DCタイプ) **NEW***

解像度：QVGA 320×240
表示色：256色



特長

- 256色
- トランスペアレント
- システムモニタ
- A/FXリスト編集

標準I/F・標準メモリサイズ

- USB
- RS-232
- RS-422
- CFカードI/F
- メモリ3M

接続形態

- CPU直接接続
- 計算機リンク
- CC-Link

*1

5.7 型 ハンディGOT/STN GT1150HS-QLBD (DCタイプ) **NEW***

解像度：QVGA 320×240
表示色：モノクロ16階調



特長

- モノクロ16階調
- トランスペアレント
- システムモニタ
- A/FXリスト編集

標準I/F・標準メモリサイズ

- USB
- RS-232
- RS-422
- CFカードI/F
- メモリ3M

接続形態

- CPU直接接続
- 計算機リンク
- CC-Link

*1

*1: G4 (AJ65BT-G4-S3) 経由のみ。



このマークが付いている機能は、GT15シリーズのみに対応していましたが、新たにGT11シリーズにも対応となりました。



設計者

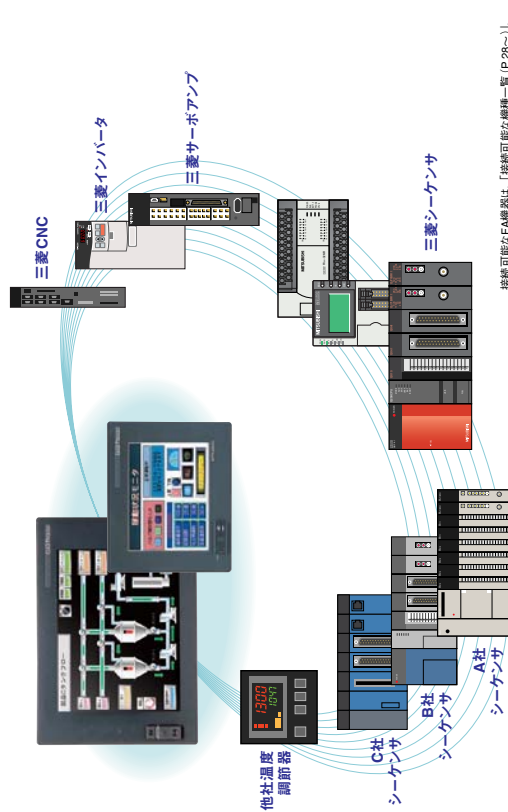
柔軟な接続性は、 あなたの設計自由度を広げるために。

複数の製造メーカー、機種が混在したシステムにも
GOT1000シリーズは柔軟対応
接続可能なFA機器が豊富

- 接続可能なシーケンサを拡充し、三菱シーケンサはもちろん他社シーケンサにも接続可能です。(オムロン(株)、横河電機(株)など10社)
- 新産対応シーケンサ **(NEW)** 【三菱シーケンサ】FX3U 【他社シーケンサ】キーエンス(株)：KV-700/1000、松下電工(株)：FP-Σ、SIEMENS：SIMATIC S7-200シリーズ
- 三菱サーボアンプと接続し、パラメータなどのモニタ画面を自由に作画できます。^{*1}
- 温度調節器、三菱インバータ・CNC^{*2}との接続も可能です。**(NEW)**
- GT15では、高速RS-232Cインタフェースを標準装備しています。また、RS-232CインタフェースにRS-422変換ユニットを装着することでRS-422通信を可能にします。

- GT11では、高速RS-232CインタフェースとRS-422インタフェースを標準装備しています。RS-232CインタフェースとRS-422インタフェースを交互に使用することで、複数台のGOTを接続することができます。
- 時計機能を内蔵しているため、時計がないシーケンサと接続する場合も、アラーム表示や時計機能を使用できます。^{*3}

^{*1}:サーボアンプモニタ機能を使用する場合は、画面作成が不要です。サーボアンプモニタ機能の詳細は、「特長とおすすめるポイント(P.25)」をご参照ください。^{*2}:MELSEC-Q44相当のデバイスのモニタ書込みが可能です。CNCモニタ機能を使用することで、CNC側のパラメータ設定等を行うことが可能です。CNCモニタ機能の詳細は、「特長とおすすめるポイント(P.25)」をご参照ください。^{*3}:GT15は時計データ保存用に、オプションで「バッテリー(GT15-BAT)」が必要です。



接続可能なFA機器は、「接続可能な機種一覧(P.28~)」
接続形態別の特長は「接続構成(P.32~)」をご参照ください。

GOTを多彩な用途へ マイコン接続強化

- 従来のデバイスの点数を拡張、さらに下記のデバイスをサポートしました。ビットデバイス:L.M.S.M.ワードデバイス:R.SD
- 割り当て数をバイトから最大4バイトに拡張しました。よりシンプルな制御プログラムの設計を実現します。
- GOT1000シリーズでは、時計機能を内蔵しているため、アラーム表示や時計機能を使用することができます。^{*}

^{*}:GT15は時計データ保存用に、オプションで「バッテリー(GT15-BAT)」が必要です。

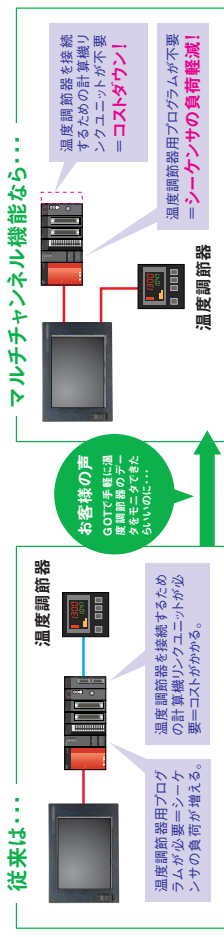


設計者

多彩なFA機器の情報を集約し、 ひとつの画面で把握していただくために。

マルチチャネル機能^{*}
GOT15台でシステム上に散在するFA機器の情報を一元管理
最大4チャネル同時通信が可能!

- 1台のGOTで、最大4チャネルのFA機器(シーケンサ、サーボ、インバータ、温度調節器など)をモニタできます。
- 接続された複数のFA機器の情報を、GOT上の同一画面でモニタできます。また、画面は自由に作成できます。



代表的な使用ケース

MELSEC+温度調節器+インバータ

温度調節器
インバータ

温度調節器用プログラムが不要
= **シーケンサの負荷軽減!**

MELSEC+温度調節器

温度調節器

温度調節器用プログラムが不要
= **コストダウン!**

シーケンサ間のデータが容易に交換可能

A社シーケンサ
B社シーケンサ

温度調節器を接続するための計算機リンクユニットが必要
= コストがかかる。

温度調節器

温度調節器

温度調節器用プログラムが不要
= **コストダウン!**

スタンダードシーケンサ (FX,他社製品など) + MELSECNET/10

MELSECNET/10

温度調節器を接続する必要がある
= **コストがかかる!**

MELSEC+温度調節器+インバータ

温度調節器
インバータ

温度調節器用プログラムが不要
= **シーケンサの負荷軽減!**

MELSEC+温度調節器

温度調節器

温度調節器用プログラムが不要
= **コストダウン!**

シーケンサ間のデータが容易に交換可能

A社シーケンサ
B社シーケンサ

温度調節器を接続するための計算機リンクユニットが必要
= コストがかかる。

温度調節器

温度調節器

温度調節器用プログラムが不要
= **コストダウン!**

スタンダードシーケンサ (FX,他社製品など) + MELSECNET/10

MELSECNET/10

温度調節器を接続する必要がある
= **コストがかかる!**





設計者

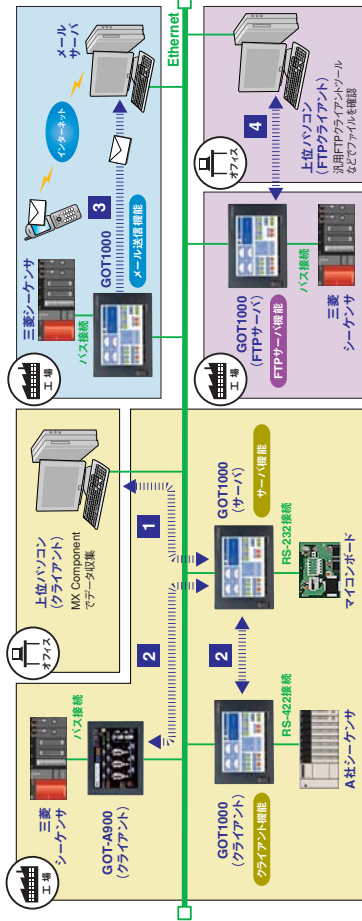
事務所と現場の情報共有を、いち早く先駆けていただくために。

ゲートウェイ機能

事務所にいながら、現場コントローラのデータ収集や異常発生をキャッチ

サーバ機能・クラライアント機能

- 1 ハバコンでデータを収集する(サーバ機能)
 - ハバコン(MX Component)からGOT(サーバ)をモニタして、GOTがモニタしているシーケンサCPUのデバイスを間接的に読み書きすることができます。
 - サーバ機能を使用することで、異なるメーカーのシーケンサCPUをモニタする場合でも、MX Component^{※1}のみで読み書きできます。
- 2 GOTで他のGOTをモニタする(サーバ機能、クラライアント機能)
 - GOT(クライアント)からGOT(サーバ)をモニタして、GOT(サーバ)がモニタしているシーケンサCPUのデバイスを間接的に読み書きすることができます。
 - クラライアント機能を使用することで、GOT(クライアント)が接続しているメーカーと異なるメーカーのシーケンサCPUにに対して、間接的に読み書きできます。
- GOT1000とGOT-A900^{※2}間でも通信できます。



メール送信機能

3 GOTからパソコンや携帯電話にメール送信^{※3}

- 現場にいなくても、異常発生を確認できます。
- アラーム履歴表示機能によるアラーム発生/復旧時に、メールでパソコンや携帯電話に情報を送信することができます。

【ゲートウェイ機能を使用するために必要な機器】

- Ethernet 通信ユニット (GT15-J71E71-100)
- シーケンサと接続する通信ユニット
- オプション機能ポート (GT15-FNBまたはGT15-QFNB (□M))

^{※1} MX Component Version3 以降が必要です。MX Component は、通信プロトコルやユニットの構成により異なる場合があります。詳しくは、GOT1000の取扱説明書をご覧ください。
^{※2} GOT1000とGOT-A900の間では、GOT1000のサーバ機能を使用する際に、MX Sheet2.0も使用できます。詳しくは、GOT1000のサーバ機能マニュアルをご覧ください。
^{※3} SMTP (メール) サーバが必要です。メール送信機能はSMTP (メール) サーバの仕様に準拠する必要があります。GOT15-OBUS2を必ず使用してください。
^{※4} GT15-ABUS、GT15-ABUS2を必ず使用してください。
^{※5} 1台の日Ethernet通信ユニットで、ゲートウェイ機能とシーケンサとの通信を行うことができます。



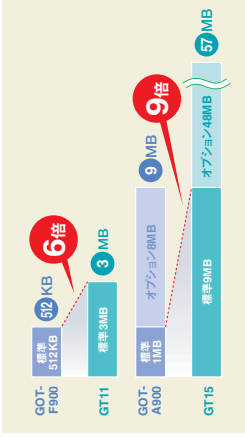
設計者

あなたにとっての最適画面を、もっと自在に美しく作り上げていただくために。

容量を気にせず作画が可能

メモリ容量大幅アップ

- GT15は、オプション(増設メモリ付きオプション機能ボード+CFカード)で最大57MBまで拡張できます。
GT15□□□-WNBC (NEW) : 標準9MB (オプションで最大53MB)
- GT11では、標準で3MBを搭載。
- メモリ容量を気にせず画面が作成できます。
- BMP-JPEG[※]を使用した、わかりやすい画面が作成できます。
[※] JPEGは、GT15のみです。



美しさ、見やすさを大幅にアップ

表現豊かなフォントバリエーション

- Windows[®]で使用可能なフォント[※]が表示できます。
[※] 標準フォント以外のTrueTypeフォント、OpenTypeフォントが表示可能です。
- Windows[®]フォント設定時には文字修飾(斜体、下線、斜体下線)も使用可能です。
- 標準フォント、高品位フォント、TrueTypeフォントは、ゴシックと明朝の2種類の書体が使用可能です。
[※] 標準フォントのゴシックと明朝の作用ではありません。
- 小さな文字から大きな文字まで美しく表示します。TrueTypeフォントも使用可能です。
- Unicode2.1に対応した標準フォント、高品位フォント、TrueTypeフォントで世界各国の文字を美しく表示します。
- 美しく見やすい、高級感のある画面が作成できます。

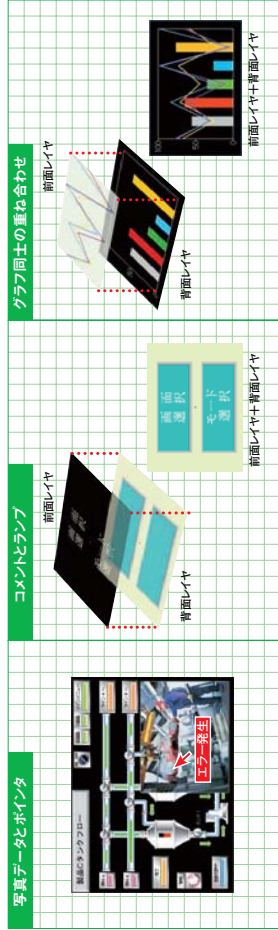
フォント	標準フォント	サイズ	書体
標準フォント	ゴシック	6x6dot	ゴシック
	明朝	12dot	明朝
	ゴシック/明朝	18dot	ゴシック/明朝
高品位フォント	ゴシック/明朝	12dot	ゴシック/明朝
	ゴシック/明朝	18dot	ゴシック/明朝
	ゴシック/明朝	24~128dot	ゴシック/明朝
TrueTypeフォント	24~128dot	ゴシック/明朝	—
Windows [®] フォント	8~128dot	—	—

日本語 中文 English 한국어
 GOT1000 Windowsフォントが使えるようになります。
 GOT1000 Windowsフォントが使えるようになります。
 GOT1000 Windowsフォントが使えるようになります。
 GOT1000 Windowsフォントが使えるようになります。

画面設計の自由度がアップ

部品の重ね合わせ(レイヤ機能)

- 部品(オブジェクト/図形)の重ね合わせにより、設計の自由度がアップします。
- 変動する数値とグラフ、折れ線グラフと棒グラフ、写真データとポイントなどの部品を重ね合わせた表示ができます。
- ランプの上にコメントを配置するなど、隠れた表示領域を有効に活用できます。





設計者

独創あふれる機能で、 設計効率をさらに高めていただくために。

膨大なコメント入力も分担作業で効率アップ コメントグループ

● 基本コメントの他に、255個のコメントグループを作成できます。



コメントグループの使用例



① ライン別に分けてコメントグループを作成する

ラインAのコメント

ラインBのコメント

ラインCのコメント

② インポート

コメントグループ1: ラインA
コメントグループ2: ラインB
コメントグループ3: ラインC

③ 表示するコメントグループをデバイスで切り換える

“1”に指定した場合

“2”に指定した場合

“3”に指定した場合

【コメントの登録】

- CSV / Unicodeテキスト形式のファイルをインポートできます。異なるファイルも別々のコメントグループにインポートできるので、コメント入力作業を複数人で分担し、作成時間を大幅に短縮できます。
- 作面ソフトウェア上での入力作業においても、Microsoft Excelのような操作性で、列挿入、行挿入、コメントNo.の変更なども簡単にできます。

【コメントグループの使用例】

- ライン別に分けて、コメントグループを作成し、表示するコメントグループを切り換えます。1つのプロジェクト内で、複数ラインの一元管理が簡単です。
- 言語ごとにコメントグループを作成し、言語切り換え画面に使用することもできます。

言語切り換え画面が簡単に作成できる 言語切り換え機能

- コメントの列No.ごとに言語別コメントを作成し、言語切り換えデバイスで、表示する列No.を指定することで、言語を切り換える画面を簡単に作成できます。
- 1つのコメントNo.につき、列毎10列作成できます。
*詳細は、「コメントグループ」をご参照ください。
- 使用例(日本語/英語/韓国語の画面に切り換える場合)
 - ① 列ごとに、日本語/英語/韓国語のコメントを作成
 - ② 言語切り換えデバイスで、表示する列No.を指定
 - ③ 表示するコメント(言語)が切り換わります
 - 言語別のアラー表示画面も簡単に作成できます。
- 列ごとのコメントは、言語別に限らず用途に応じて自由に作成できます。

日本語/英語/韓国語の画面に切り換える場合

① 列ごとに、日本語/英語/韓国語のコメントを作成

列No.	コメントNo.	内容
1	1	メニュー
2	2	タイミング設定
3	3	明片
		Timing
		Setup
		表示
		設定
		変更
		確認



② 言語切り換えデバイスで表示する列No.を指定

③ 表示する言語が切り換わります

設計者

図形を含めた画面設計を、 直感的に進めていただくために。

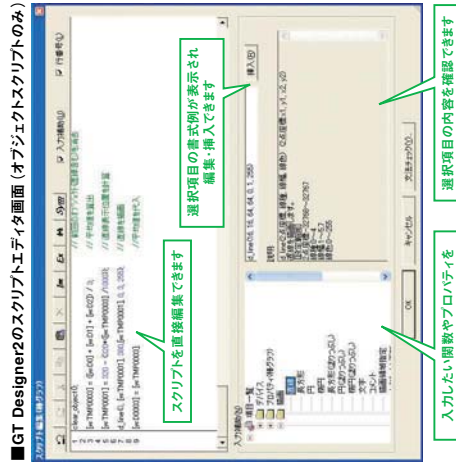
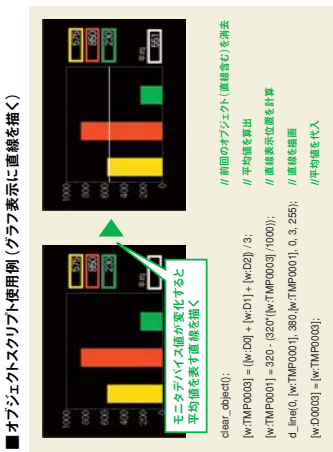
作業効率・カスタマイズ性を強化し、画面設計の自由度が向上 スクリプト機能

1. プロジェクトスクリプト/画面スクリプト

- GOT独自のプログラムにより、プロジェクト単位、画面単位でGOTの表示を制御できます。
- GOTの表示制御をGOT側のスクリプトで行うことにより、コントローラ側(シーケンサCPU、マイコンなどの負荷を大幅に軽減)できます。

2. オブジェクトスクリプト*

- オブジェクト単位で描画関数や表示制御関数が設定できるので、他プロジェクトへのオブジェクト流用が簡単です。
- スクリプトで色・表示位置などのプロパティ(表示属性)変更や自由な図形描画ができるので、画面表示制御の自由度が大きく広がります。
- GT Designer2専用エディタの補助機能を使用し、関数やプロパティなどが簡単に設定できるため、スペルミス防止や制御文を調べる時間を短縮できます。
- オブジェクトスクリプト使用例(グラフ表示に直線を描く)

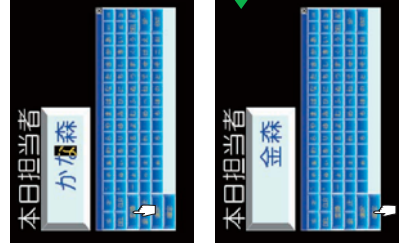


*オブジェクト機能ボードが必要で、GT15...GT15-FNBまたはGT15-OFNB(□M)

漢字を使った分りやすく、 美しい項目管理が可能

かな漢字変換機能

- かな漢字変換機能とは、アスキー入力した「ひらがな」を漢字変換する機能です。作業者の名前や製品名を漢字で入力することができます。
- ユーザ作成による文字入力キー(キーコードスイッチ)で入力した文字を、漢字変換キー(キーコードスイッチ)で変換することで、アスキー入力に漢字として表示します。
- GOT1000では、オブジェクト内カーソル移動により、アスキー入力文字列のどの部分へも追記入力が可能です。



オブジェクト機能ボードが必要で、GT15...GT15-FNBまたはGT15-OFNB(□M)



設計者



設計者

品種情報の一括管理で メンテナンスを容易化していただくために。

シーケンサフリーでレジビ操作を自動化

拡張レジビ機能

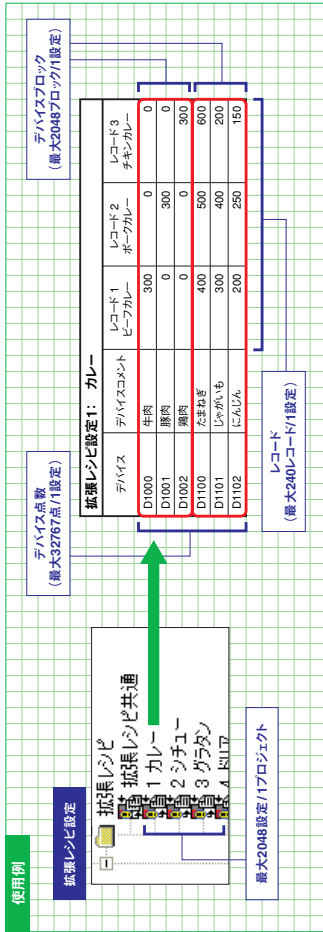
材料の配合条件や加工条件などのデータ(デバイス値)をGOT内に保持し、GOTから必要なデータをシーケンサ等へ書き込み・読出しする機能です。

1. 豊富な設定数・デバイス点数・レコード点数

- ファイル数は2048ファイルに、デバイス点数は32767点に大幅拡張しました。
- ひとつの拡張レジビ設定で最大240種類(レコード)のデバイス値が管理できます。

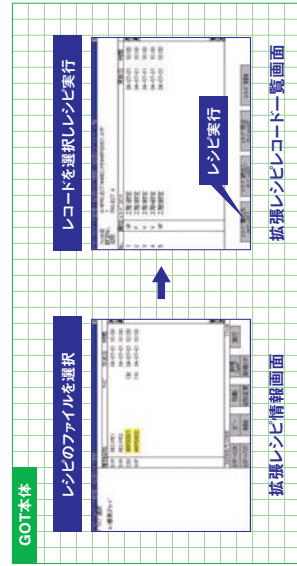
2. 柔軟なレジビデータの作成が可能

- 拡張レジビ設定、レコードを組み合わせて、柔軟なレジビデータの作成ができます。
- レジビNo.とレコードNo.を指定して書き込み・読出しを行うため、ファイルごとにトリガデバイスを用意する必要がなくなり、使用デバイス数の削減とトリガデバイスを集約することができます。^{*1}
- デバイスプロックは、連続したワード・デバイス、ランダムワード・デバイス1点、ビットデバイス1点、最大2048ブロックできます。
- デバイスは、ビットワードの存在・ランダムデバイスの設定も可能なため、連続デバイスに集約する必要がなく、デバイス点数を節約できます。
- 拡張レジビファイルはパソコンで編集できます。^{*2}



3. レジビデータをGOT本体で簡単に管理

- レジビ操作の画面を作成しなくても、GOT本体のユーティリティで簡単に操作ができます。
- ユーティリティからは、フォルダの作成/削除、拡張レジビファイルのコピー/削除/ファイル名変更、レコード書き込み/読出し/照合が可能です。
- 拡張レジビファイルをCSVファイルまたはUnicodeテキストファイルに変換することが可能です。



*1: GT Designer2で拡張レジビ共通設定(拡張レジビ使用時は設定必須)で「レジビNo.後継デバイス」「レコードNo.後継デバイス」[外部制御デバイス]のデバイスを設定し、登録済デバイスにNo.を入れて外部制御デバイスON/OFFにより書き込み・読出しができます。

*2: 拡張レジビファイルは、バイナリ形式のファイルです。GT Designer2もしくはGOT本体のユーティリティでCSVファイルまたはUnicodeテキストファイルに変換する必要があります。変換後、編集できる箇所は、デバイス値のみになります。



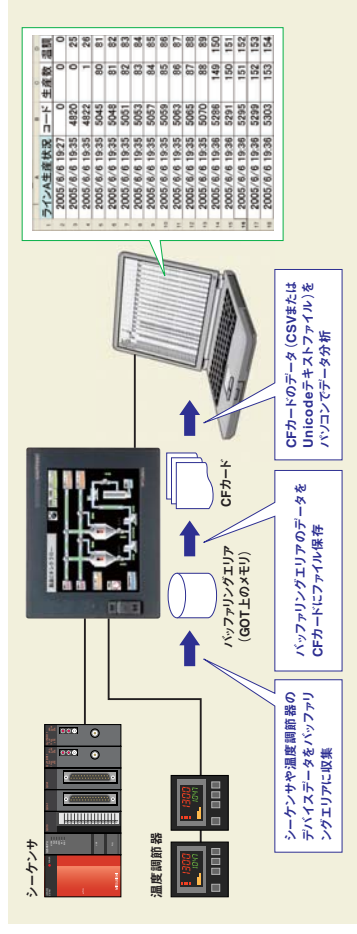
設計者

生産状況の履歴管理と、万一のトラブル発生要因を 的確に分析いただくために。

多彩なデータの収集から時系列での

ファイル保存までをスムーズに実行 ロギング機能

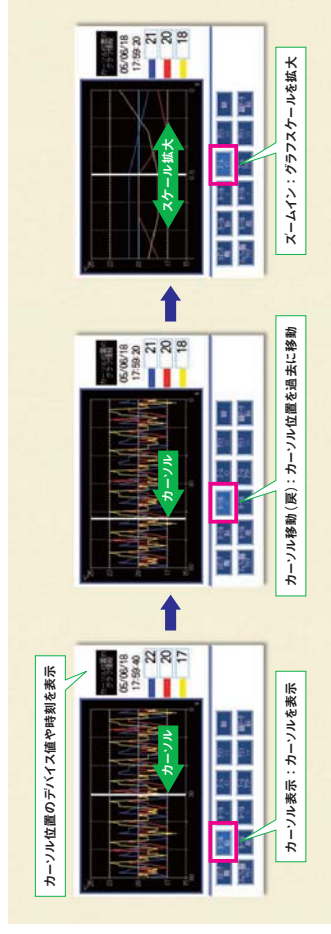
- 温度調節器の温度などのデータ収集をGOT本体で行うことにより、シーケンサの負荷を軽減できます。
- 設定可能なデバイスは最大250点/1設定、最大32設定/1プロジェクトです。
- 収集したデータは、CFカードに保存してパソコンでの記録・分析に活用できます。
- 保存可能なファイル形式は、GOT専用のバイナリファイル、CSV、Unicodeテキストファイルです。



オプション機能ボードが必要です。GT15...GT15-FNBまたはGT15-QFNB(□M)

ロギングデータをグラフ表示で簡単確認 ヒストリカルトレンドグラフ

- ロギング機能で収集したデータを、パソコンエリアはもちろん、CFカードに保存したファイルからも時系列でのグラフ表示が可能です。



- ロギング機能で収集した情報をグラフ表示でき、過去情報はスクロールスイッチひとつで表示できます。
- カーソルや、カーソル位置のデバイス値と時刻の表示、また、スケールの拡大・縮小が可能です。
- 1画面に最大8個のグラフを配置でき、1個のグラフには最大32本のデータを表示できます。

* ヒストリカルトレンドグラフを使用する場合は、オプション機能ボードが必要です。GT15...GT15-FNBまたはGT15-QFNB(□M) あらかじめロギング機能の設定が必要です。



設計者

デバッグ作業を、少しのムダなく進めていただくために。

MELSOFT GT Simulator 2 Version2



GT Simulator 2

仮想GOT

1. パソコン1台で「GOTとシーケンサの実機なしデバッグが可能」*1

- GT Simulator 2での画面デバッグにより、画面修正が必須な場合、GT Designer 2で画面修正し、即座にGT Simulator 2で変更結果を確認できる作業工数が大幅に削減できます。
- タッチスイッチ部分をマウスでクリックすることでタッチスイッチ入力機構を実行します。タッチスイッチによる入力結果はGT Simulator 2上の表示変換。GT Simulator 2上のデバイスモニタ画面、GX Simulator 2上のデバイスメモリモニタ画面、GX Developer 2上の回路モニタ表示で確認できます。
- GX Developerで作成したシーケンサプログラムと組み合わせることで画面の動きを再現しながら直感的なデバッグ作業を行うことができます。
- GT Designer 2でシステムアラームなどを設定しなくても、GT Simulator 2上でシステムアラーム・スクリーンショットを登録できます。



2. シーケンサと接続して「GOTの実機なしデバッグ」も可能

- パソコン(GT Simulator 2)とシーケンサをCPU直接続して、GOT「実機なし」デバッグができます。三菱シーケンサとオムロン社製シーケンサ*2が接続可能です。
- | 接続可能なシーケンサ | シーケンサとパソコン間の接続方法 |
|--------------------------|------------------|
| 三菱シーケンサ (Q/GM/A/FX/シリーズ) | RS-232C・RS-422 |
| 三菱GNC (MELDAS C6/C64) | RS-232C・RS-422 |
| オムロン社製シーケンサ*2 | RS-232C |

3. デバイスモニタ機能でさまざまなデバイスをモニタ

- 表示している画面に設定しているデバイスをモニタできます。(GOT内部デバイスのモニタもできます。)
- 表示している画面以外に共通設定、オーバーラップウィンドウ画面1・2、スーパースクリーンウィンドウ画面1・2のモニタもできます。
- デバイスの自由登録で、モニタしたいデバイスを複数登録できます。

4. お客様との仕様確認、ドキュメント作成を強力サポート

- 動作イメージを確認しながら、お客様との画面仕様打ち合わせも実機なしでできます。
- 表示画面のスクリーンショットがパソコンのハードディスクにBMP / JPEGファイルで保存できるので仕様書やマニュアル作成時に大変便利です。

*1: GX Simulator (ラダーシミュレーションソフト)が必要で、*2: 接続可能なシーケンサ機種は「接続可能な機種一覧 (P.28)」をご参照ください。
[シミュレートできない機能] ユーザーデータ機能やオプション機能など、シミュレートできない機能の詳細はGT Simulator 2操作マニュアルをご覧ください。



オペレータ

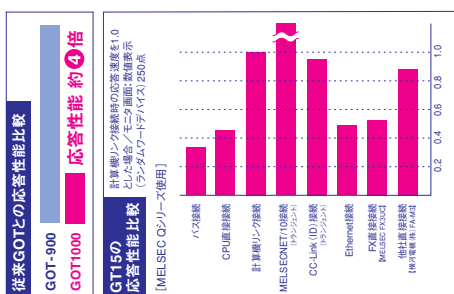
もっと快適なオペレーション環境を広げていただくために。

GOTのトータル応答性が大幅にアップ 描画・演算・通信三位一体の高応答

GOT1000シリーズでは、描画・演算・通信の全てにおいて高速化を実現。モニタや操作でのストレスを軽減します。

- 高速描画** 超高速描画チップ搭載 (GT15のみ)
 - GOT1000シリーズ専用開発された描画チップにより、図形・文字の高速描画を実現しました。
 - いくつもの部品を重ね合わせた複雑な画面や、精密な写真データもはつきりとしたスムーズに描画します。
- 高速演算** GT11・64bitRISCプロセッサ搭載
GT15・64bitスーパースカラRISCプロセッサ搭載
 - 高速演算ハードウェアを実現するプロセッサの搭載により、快適なオペレーションを提供します。
- 高速通信**
 - RS-232C通信が高速 (最大115.2kbps) になりました。
 - GT15では、バス接続による高速通信が可能です。
 - 三菱シーケンサはもちろん、他社シーケンサとの接続においても高速通信を実現しました。

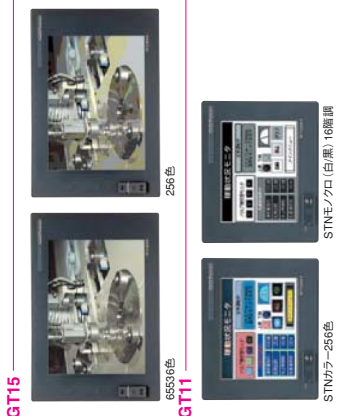
接続可能なシーケンサ機種は、「接続可能な機種一覧 (P.28~)」, 「接続形態別の特長は、「接続構成 (P.32~)」をご参照ください。



鮮明表示でくっきり見やすい 65536色フルカラー／モノクロ16階調

- GT15は、豊富なラインアップから用途に応じて表示色を選べます。GT15 (D/ITB)は、標準で256色表示が可能です。多色表示モード使用時は、65536色の表示が可能です。ドラブルメニュータイプ画面などで、JPEG-BMPを使用した群や、わかりやすい画面が表示できます。
- GT15 (D/ITB-VNB) (NEW)は、標準で256色表示が可能です。
- GT11は、256色表示とモノクロ (白/黒) 表示の2機種を用意しました。256色タイプは、寿命75000時間以上の長寿命バックライトを採用。モノクロ (白/黒) タイプ表示は、16階調で表現力を向上しました。
- 高輝度、広視野角、高鮮明度の液晶を採用。鮮やかに、美しく、くっきりとした表示ができます。
- 透過率の高い保護シート*を採用。見やすい画面はそのまま、反射防止・画面保護します。

*: 保護シートは、オプションとなります。



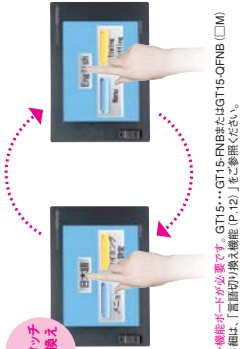
生産現場のグローバル化に対応 世界各国の言語表示が可能、切り換えも簡単

- Unicode2.1に対応した標準フォント、高品位フォント、TrueTypeフォントで世界各国の文字を美しく表示します。
- 中国語の簡体字や繁体字 (NEW) を正しく表示*します。(GT150のみ)
- 美しく見やすい高級感のある画面を作成できます。



- 言語ごとの画面の切り換え*がワンタッチで可能です。生産現場でのオペレータの言語の違いにも柔軟に対応できます。

ワンタッチで切り換え



*1: オプション機能が必要で、*2: GT15-RNBまたはGT15-OFNB (D/M) 機能の詳細は、「言語切替機能 (P.12)」をご参照ください。



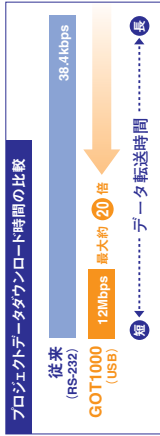
立ち上げ・調整作業者

作業工数を、 できる限り削減していただくために。

USBインタフェース前面接続

- 盤を開けずに、らくらくケーブル接続
USBインタフェース前面配置により、盤を開けずにケーブルを接続することができます。GOTのデータ転送時、盤を開け開ける煩わしさがなく、作業効率がアップします。
- USBインタフェースは、全機種に標準装備。従来のRS-232通信に比べ、データ転送時間が最大約1/20となり、立ち上げ・調整時間が大幅に短縮します。
- 耐環境カバーを標準装備。ネジ止めし固定することにより、IP67*に対応します。
- 耐環境カバーは、コイン式ネジで開閉が簡単です。

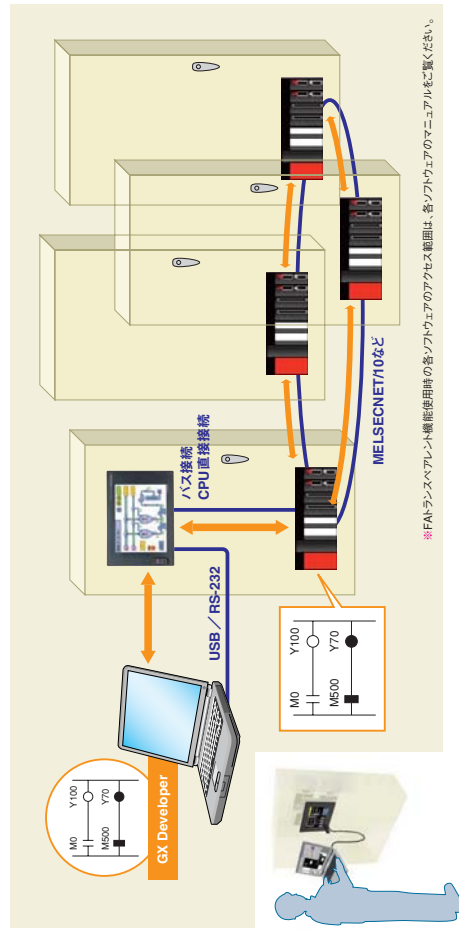
*ただし、お客様の場所や環境を確保するものではありません。USBケーブル接続時は未対応



盤を開けずにシーケン্সプログラムの修正作業が可能 FAトランスペアレント機能

- GOTの前面USB経由で、シーケン্সプログラムのデバッグ・立ち上げ・調整作業ができます。^{*1} 盤を開けたり、ケーブルの付け替えをする面倒な手間がなくなります。(RS-232経由でも使用できます。)^{*2}
- GOTと三菱シーケンサをバス接続^{*3}またはCPU直接接続時、GOT経由でプログラムの読み出し、書き込み、モニタなどが行えます。

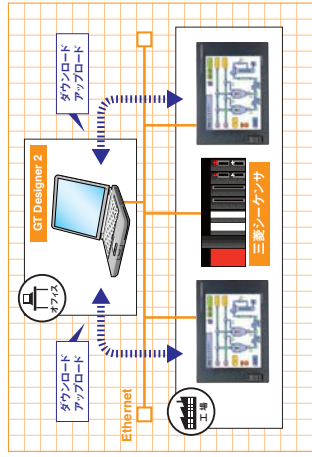
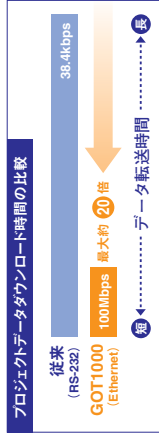
*1: GX Developer, Version 9.22V以降が必須です。
 *2: GOT内蔵RS-232インタフェースを使用してシーケンサと接続した場合は、GOTとパソコン間の接続はUSBのみになります。
 *3: バス接続でGOT115は複数台接続している場合、それぞれGOTでFAトランスペアレント機能が使用できます。



*FAトランスペアレント機能使用時の各ソフトウェアのインストール画面は、各ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

離れた場所からでも プロジェクトデータのメンテナンスが可能 Ethernet経由での 高速ダウンロード・アップロード

- パソコンからEthernet経由で遠隔地のGOTにプロジェクトデータのダウンロード・アップロードができます。



*遠隔地機能がインストールされているGOT本体にEthernet通信ユニット (GT15-J71/ET1-100) の設置が必要です。Boot OS: OSインストール以外のダウンロード・アップロードが可能です。(リソースデータはアップロードのみ)

GOTのデータ転送・セットアップが簡単 CFカードインタフェース標準装備

- CFカードインタフェースを全機種に標準装備しています。
- GOTとパソコンをケーブルで接続しなくても、GOTのデータ転送が短時間で済みます。
- GOTが複数台ある場合も、1枚のCFカードから各GOTへコピーするだけで簡単にGOTのセットアップができます。





三菱製FA機器のモニタリングなどを、手軽に行っていただくために。

色でお知らせ前面LED・メンテナンス時期通知機能 消耗品のメンテナンスに便利

1. 色でお知らせ前面LED

- バックライト消灯中かバックライト切れかをGOT前面LEDの色で判断することができます。

[POWER LED:色別メッセージ]

緑色点灯	電源が正常に供給されたとき
青色点灯	スタンバイ時
黄色点灯	バックライト切れ
消灯	電源が供給されていないとき

2. メンテナンス時期自動通知機能 (GT15のみ)

- バックライトの通電時間などを自動でカウントし、メンテナンス時期を2段階で通知することができます。

- 管理対象

- ・バックライト、表示部 (通電時間)
- ・タッチキー (押下回数)
- ・内蔵フラッシュメモリ (書込み回数)

- メンテナンスを計画的に行うことができ、システムの予防保守に役立ちます。

オプション機能は別付が必要です。
 GT15 …… GT15-FNB※はIGT15-QFNB(□M) …… GT15-BAT

システムモニタ機能 シーンセンサのデバイス モニタ/変更

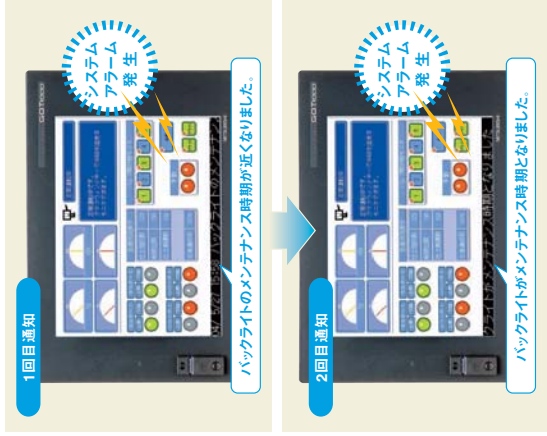
- 三菱シーケンサのシーンセンサCPUのデバイスをモニタ/変更できます。
 ・モニタしたいデバイスを選択、または、先頭デバイスを指定してモニタすることができます。
 ・タイム(T)/カウンタ(C)の現在値、設定値の変更も可能です。
- 特殊機能ユニットのバックアップメモリ(BM)をモニタ/変更できます。
- 表示形式(10進/16進)、デバイスコメント(表示/非表示)を切換えることができます。

AJ/リスト編集/FXリスト編集 (NEW) 現場でのちょっとしたプログラム変更にも便利

- MELSEC-Aシリーズ、FXシリーズのシーケンサプログラムをリスト(命令語)形式で編集できます。
- 周辺機器がなくとも、現場でのちょっとしたプログラムの変更が可能です。
- GT15では、回路モニタ機能と併用し、回路を見ながらシーケンサプログラムを編集できます。

オプション機能は別付が必要です。
 GT15 …… GT15-FNB※はIGT15-QFNB(□M) …… GT11 …… GT11-SOBN

■メンテナンス時期通知機能 (GT15のみ)



回路モニタ機能

シーケンサプログラムのモニタ・故障要因検索が可能

- 三菱シーケンサのシーケンサプログラムのモニタや各種検索などが実行できます。

- ・回路図(ラダー)形式でモータ、デバイス種・タイム(T)/カウンタ(C)の設定値を変更・コイル(または接点)をタッチして同デバイス(またはコイル)を検索※1

- 故障時などは、アラーム履歴と併用し簡単にアラーム発生要因となる接点を回路をさかのぼって検索できます。

※1:MELSEC Q/QnAシリーズのみ。

Qモーションコントローラの調整作業が簡単

- Qモーションコントローラのサーボモータパラメータ設定ができます。※2
- 同一ベース上のQ172(N)または、Q173(N)を最大3台までモニタパラメータ設定ができます。

※2:QモーションコントローラCPUの本体OS/SV/SVZ2のバージョンが、機種により、使用できるQモーションモータ制御の内容が異なります。

ネットワークモニタ機能

MELSECNETの回線状態がひと目でわかる

- MELSECNET H・MELSECNET I/Q・MELSECNET II のネットワーク回線状態を専用画面でモニタできます。
- 回線モニタ、自局情報、他局情報を把握でき、通信状態を簡単にチェックできます。



サーボアンプの立ち上げ・調整作業が簡単

- パルス列出力によるシステムの場合、GOTをリアルタイムサーボアンプに接続し、サーボアンプのセットアップ・モニタ・アラーム・診断・パラメータ設定、テスト運転ができます。※3

- サーボアンプ複数台接続時、GOT1台でも局番指定により簡単にモニタ切り換えが可能です。

※3:サーボアンプの機種により、使用できるサーボアンプモニタ機能の内容が異なります。

CNCモニタ機能 専用表示器が不要。だから、省スペース・低コスト

- MELDAS C6/C64 接続時、MELDAS専用表示器と同等の位置表示モニタ、アラーム診断モニタ、工具補正パラメータ設定などができます。
- Ethernet接続により、CNCを最大64台までモニタできます。また、MELSECNET/10接続ではCNCは管理局のみモニタ可能です。

※4:GT15シリーズのXGAまたはSVGAモデルに対応。



インテリジェントユニットモニタ機能 バックアップメモリ値やI/O情報をわかりやすく表示

- インテリジェント機能ユニットのバックアップメモリ値や、入出力ユニットのON/OFF状態のモニタ、データ変更ができます。
- QCPU (Qモード) 使用時は、PC診断にてCPU動作状態や現在のエラーがモニタできます。



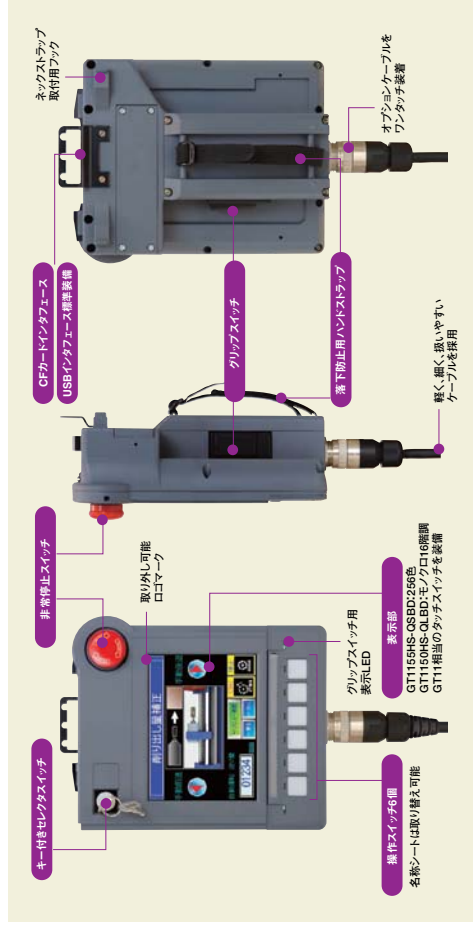
当ページの機能には、オプション機能は別付が必要です。 GT15 …… GT15-FNB※はIGT15-QFNB(□M) また、Q/QnA回路モニタ機能使用時はIGT15-QFNB(□M) を使用してください。

現場のどこにいても、 存分の機動力を発揮していただくために。

GT1155HS-QSBD/GT1150HS-QLBD



片手持ち、首掛け、壁掛け、据え置き。 ハンディターミナルでオペレータの自由度アップ



■GT11同等の表示部

- GT1155HS-QSBDは256色、GT1150HS-QLBDにはモノクロ16階調、GT1155/GT1150をBuilt-inしました。

■キー付きセレクトスイッチ

- 手動自動の切換えやモード選択、段取り替えなど、運転によつてオペレータを限定できます。

■2b接点の非常停止スイッチ

- 2点のb接点を直列につなぎ、どちらの接点もOFFしても停止指令を与えることができ、安全性が向上します。

■グリップスイッチ

- 3ポジション式のスイッチを採用。(OFF-ON-OFF) デジタマンスイッチとして外部機器に接続し、機械への操作中止命令を即座に与えることができます。

■操作スイッチ 6個

- 外部機器の入力に押しボタンスイッチとして直接配線し、機械の運転停止などに使用できます。
- また、操作スイッチの名称も自由に変更できます。
- パネル面には、操作スイッチの動作確認用LED(緑)を装備。

■CFカードインタフェース

- CFカードを使って、GOTのデータ転送が短時間で済みます。

■USBインタフェース

- GT Designer2とGOT間のデータ転送が短時間で済みます。

■RS-232Cインタフェース標準装備

- USBインタフェースを使用しない場合、GOTのデータ転送時に使用します。

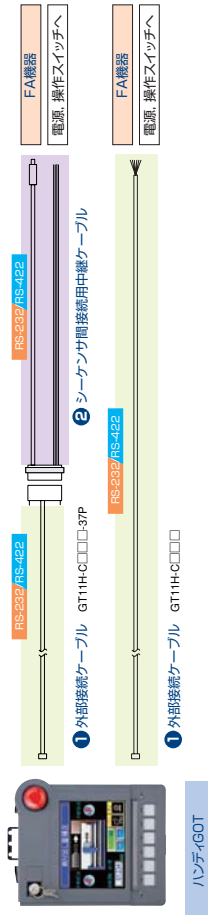
■RS-232C/RS-422通信

- 接続機器との通信形態をRS-232とRS-422から選択できます。

■オプション機器

- 非常停止スイッチガード (GT11H-50ESCOV)
- 保護シート (GT11H-50PSC)
- CFカード
- オプション機能ボード (GT11-50FNB)
- 交換用バッテリー (GT11-50BAT)
- 外部接続ケーブル
- ハンコニ接続ケーブル (GT01-C-03R2-6P (RS-232ケーブル)) (GT09-C20USB-5P (USBケーブル))

ハンディGOT ↔ FA機器間接続ケーブル



形名	接続FA機器	接続ポート	① 外部接続ケーブル	② FA機器間接続用中継ケーブル
GT1155HS-QSBD GT1150HS-QLBD	FX5s, FX5n, FX5nc, FX5nc, FX5n, FX5uc, FX5s, FX5n	CPUのプログラミング用ポート CPUのプログラミング用ポート またはFX5n-422-BD CPUのプログラミング用ポート またはFX5n-422-BD CPUのプログラミング用ポート	GT11HC□□□37P □□□:303mm(60(1em)/100(1em))	GT11H-C15R4.8P (1.5m) GT11H-C15R4.25P (1.5m)
接続可能なFA機器 (1接続可能な機種一覧(P28~))	A, OmA, Aメモーションコントローラ	接続可能なFA機器 (1接続可能な機種一覧(P28~))	接続可能なFA機器 (1接続可能な機種一覧(P28~))	ユーザにて作成ください。
接続可能なFA機器 (1接続可能な機種一覧(P28~))	接続可能なFA機器 (1接続可能な機種一覧(P28~))	接続可能なFA機器 (1接続可能な機種一覧(P28~))	接続可能なFA機器 (1接続可能な機種一覧(P28~))	ユーザにて作成ください。
接続可能なFA機器 (1接続可能な機種一覧(P28~))	接続可能なFA機器 (1接続可能な機種一覧(P28~))	接続可能なFA機器 (1接続可能な機種一覧(P28~))	接続可能なFA機器 (1接続可能な機種一覧(P28~))	ユーザにて作成ください。

■RS-422接続時

ハンディGOTとシーンガンガン間の接続距離を11.5m以内としてください。

■RS-232C接続時

ハンディGOTとシーンガンガン間の接続距離が表中のケーブルより長い場合は、ユーザにてFA機器間接続用中継ケーブルを作成してください。
接続ケーブルに関する詳細は、ハンディGOT本体取扱説明書をご覧ください。

GOT1000シリーズでは、三菱シーケンサをはじめ様々なFA機器と接続できます。

【シーケンサ/モーションコントローラ】

他社シーケンサ/モーションコントローラ

最大115.2kbpsのRS-232C通信で、各社シーケンサとの高速通信を実現します。
GOT1000は、RS-422RS-422C変換アダプタを標準装備することでRS-422C通信ができます。
G111は、RS-232CリアプターとRS-422C変換アダプターを標準装備しています。

メーカー	機種名	計算機リンク接続	CPU直結接続
三菱PLC	GM1A		X
	GM1	X	
	GM2A		O
	GM2C		X
	C200H		
	C200HX		O
	C200HG		X
	C200HE		
	COM1H	X	
	COM1		X
	CS1G		O
	CJ1H		
	CJ1G		O
	CJ1M		O
	C1000H		X
C2000H			
CY500		O	
CY1000		O	
CY2000		O	
CV1M1		X	
(株) キョーエンス	KV700		O
	KV1000		O
	JW-21CU		X
	JW-31CUH		X
	JW-500CUH		X
	JW-22CU		
	JW-32CUH		
	JW-33CUH		
	JW-70CUH		O
	JW-100CUH		O
	JW-100CU		O
	Z-512J		X
	T2 (PU224)		O
	T2E		O
	T2N		O
T3		O	
T3H		O	
PROSEC シリーズ	model 3000 (S3)		X
	model 2000 (S2)		X
	H-302 (CPU2-03H)		X
	H-702 (CPU2-07H)		X
	H-1002 (CPU2-10H)		X
	H-2002 (CPU2-20H)		X
	H-4010 (CPU3-40H)		X
	H-300 (CPU-03H)		X
	H-700 (CPU-07H)		X
	H-2000 (CPU-20H)		X
	H-200 (CPU-02H)		X
	H-250 (CPU2-05H)		X
	H-252 (CPU2-02H)		X
	H-252B (CPU2-02HB)		X
	H-252C (CPU2-02HC)		X
H-252C (PEE22-02HC)		X	
(株) 日立産機システム	H-200R		X
	H-400R		X
	H-640R		X
	H-200T		X
	H-280T		X
	H-400T		X
	H-640T		X
	HL-400R		X
	HL-640R		X
	EH-CPU104		X
	EH-CPU108		X
	EH-CPU108		X
	EH-CPU108		X
	EH-CPU1316		X

*1: RS-422/RS-232Cの通信可能
*2: Adapter (1770KF9) 経由でDH485ネットワークに接続可能
*3: DH485接続はシリーズのCPUのみの使用可能 (CPUは、CPU11~CPU14)
*4: 1316接続はシリーズのCPUのみの使用可能 (CPUは、CPU11~CPU14)

■他社計算機リンク接続時に使用可能なユニット

メーカー	RS-422	RS-232
シーアプ(株) リンクユニット	JW-21CM JW-100CM COMMH COMMH2H	—
(株)日立産機システム インテリジェントリアルポートモジュール	COMMH COMMH2H	COMMH COMMH2H
松下電工(株) コンピュータ・エクス・コミュニケーション	—	AF2482 AF2482 AF2482
(株)安川電機 メカバスモジュール	JAMSC-120NCM27100 JAMSC-IF61 JAMSC-IF50	JAMSC-IF61 JAMSC-IF50
梅河電機(株) パソコン用モジュール	LC02-2N PLC11-2N	LC02-2N PLC11-2N PLC11-1F PLC12-1F

【温度調節器】

温度調節器と接続し、GOTデータのロギング、パラメータの設定やアラームを表示できます。

メーカー	形名	RS-485	RS-422	RS-232	
オムロン(株)	サーマゾ/NEO	ESAN	O(2線式)*1	X	O
		ESEN	O(2線式)*1	X	O
		ESON	O(2線式)*1	X	O
		ESZN	O(2線式)*1	X	O
		SDC20/21	O(4線式)	X	O
		SDC30/31	O(4線式)	X	O
		SDC40A/40B/40G	O(4線式)	X	O
		SDC15	O(2線式)*1	X	O
		SDC25/26	O(2線式)*1	X	O
		SDC35/36	O(2線式)*1	X	O
(株)山武	SDC	DMC10	O(2線式)*1	X	
		DMC	O(2線式)*1	O	
理化工業(株)	H-POP-J H-POP-A, H-POP-B	—	X	O	

*1: GOT1000の対応と異なります。
*2: RS-422/RS-485変換器を使用

【インバータ】

三菱インバータと接続し、パラメータの設定やアラームを表示できます。

メーカー	形名	RS-422	RS-232
三菱電機(株)	FREQROL-S500/E500/A500/F500	O	X
	FREQROL-A700/F700	O	X

【サーボアンプ】

三菱サーボアンプと接続し、パラメータの設定やアラームを表示できます。

メーカー	形名	RS-422	RS-232
三菱電機(株)	MELSERVO-J2 Superシリーズ	O	O
	MELSERVO-J2Mシリーズ	O	O
	MELSERVO-J3シリーズ	O	O

【CNC】

CNC MELDAS C6/C64の下位パラメータの設定ができます。

シリーズ	形名	接続形態			
		バック接続	CPU直結	計算機リンク	MELSEC CC-Link/Ethernet
MELDAS C6/C64	FCA C6	X	O	X	O
	FCA C64	X	O	X	O
MELDAS C6/C64	—	X	O	X	O
	—	X	O	X	O

■三菱CNCと接続時に使用可能なユニット

シリーズ	接続時
MELSECNET1H (NET1700-E/F), MELSECNET10/20ユニット	光ループ 同梱バス
MELDAS C6/C64	FCU6-EX079 FCU6-EX078
CC-Link (ID) 接続時	—
MELDAS C6/C64	FCU6-EX079 FCU6-EX078
Ethernet接続時	—
MELDAS C6/C64	FCU6-EX079 FCU6-EX078

接続構成

三菱シケンサ

バス接続 タッチスイッチを押しボタンと同等の高速応答を実現できます。		接続先 GOT最大接続台数 5台 最大接続距離 37m	
GOT標準通信インターフェース RS-422 RS-232C	接続ケーブル GOT15-RS4-9S GOT15-RS4-9S	GOT最大接続台数 3台 最大接続距離 36m	接続先 QnA/ACPU モーションコントローラCPU (Qシリーズ)
GOT標準ユニット GOT15-ASBUL ¹⁾ GOT15-ABUS ²⁾	ハス接続ケーブル GOT15-ASBUL ¹⁾ GOT15-ABUS ²⁾	GOT最大接続台数 3台 最大接続距離 36m	接続先 QnA/ACPU モーションコントローラCPU (Aシリーズ)
GOT標準ユニット GOT15-ASBUL ¹⁾ GOT15-ABUS ²⁾	ハス接続ケーブル GOT15-ASBUL ¹⁾ GOT15-ABUS ²⁾	GOT最大接続台数 3台 最大接続距離 36m	接続先 QnA/ACPU モーションコントローラCPU (Qシリーズ)

※1: GOT15-ASBULケーブルは、ケーブル長が10m以内でしか使用できません。
 ※2: Ethernetの標準ケーブルは、ケーブル長が100m以内でしか使用できません。GOT15-ASBULケーブルは、ケーブル長が100m以内でしか使用できません。

CPU直接接続

接続先 GOT最大接続台数 1台 最大接続距離 3m		接続ケーブル RS-232C GOT15-RS2-9P	接続先 QnA/ACPU モーションコントローラCPU (Qシリーズ)
GOT標準ユニット GOT15-ASBUL ¹⁾ GOT15-ABUS ²⁾	ハス接続ケーブル GOT15-ASBUL ¹⁾ GOT15-ABUS ²⁾	GOT最大接続台数 1台 最大接続距離 30.5m	接続先 QnA/ACPU モーションコントローラCPU (Aシリーズ)
GOT標準ユニット GOT15-ASBUL ¹⁾ GOT15-ABUS ²⁾	ハス接続ケーブル GOT15-ASBUL ¹⁾ GOT15-ABUS ²⁾	GOT最大接続台数 1台 最大接続距離 30.5m	接続先 QnA/ACPU モーションコントローラCPU (Qシリーズ)
GOT標準ユニット GOT15-ASBUL ¹⁾ GOT15-ABUS ²⁾	ハス接続ケーブル GOT15-ASBUL ¹⁾ GOT15-ABUS ²⁾	GOT最大接続台数 1台 最大接続距離 30.5m	接続先 QnA/ACPU モーションコントローラCPU (Aシリーズ)

各接続形態の特長や接続先・距離・GOT台数などから最適な接続構成を選ぶことができます。マルチチャンネル機能を使用時の構成については、留意事項 (P.55) をご参照ください。

RS-422 GOT本体 画像ユニット GOT15-RS2-9P	RS-422 GOT15-RS2-9P	RS-422 GOT15-RS2-9P	GOT最大接続台数 2台 最大接続距離 30m	接続先 FXシリーズ (FX1s, FX1N, FX2N) CPUポート右側端子 (FX1s, FX1N, FX2N) (機能拡張ポート (FX1s, FX1N, FX2N) を併用)
RS-232C GOT本体 画像ユニット GOT15-RS2-9P	RS-232C GOT15-RS2-9P	RS-232C GOT15-RS2-9P	GOT最大接続台数 1台 最大接続距離 15m	接続先 FXシリーズ (FX1s, FX1N, FX2N) CPUポート右側端子 (FX1s, FX1N, FX2N) (機能拡張ポート (FX1s, FX1N, FX2N) を併用)
RS-422 GOT本体 画像ユニット GOT15-RS2-9P	RS-422 GOT15-RS2-9P	RS-422 GOT15-RS2-9P	GOT最大接続台数 1台 最大接続距離 30m	接続先 FXシリーズ (FX1s, FX1N, FX2N) CPUポート右側端子 (FX1s, FX1N, FX2N) (機能拡張ポート (FX1s, FX1N, FX2N) を併用)
RS-232C GOT本体 画像ユニット GOT15-RS2-9P	RS-232C GOT15-RS2-9P	RS-232C GOT15-RS2-9P	GOT最大接続台数 1台 最大接続距離 15m	接続先 FXシリーズ (FX1s, FX1N, FX2N) CPUポート右側端子 (FX1s, FX1N, FX2N) (機能拡張ポート (FX1s, FX1N, FX2N) を併用)
RS-422 GOT本体 画像ユニット GOT15-RS2-9P	RS-422 GOT15-RS2-9P	RS-422 GOT15-RS2-9P	GOT最大接続台数 1台 最大接続距離 30m	接続先 FXシリーズ (FX1s, FX1N, FX2N) CPUポート右側端子 (FX1s, FX1N, FX2N) (機能拡張ポート (FX1s, FX1N, FX2N) を併用)
RS-232C GOT本体 画像ユニット GOT15-RS2-9P	RS-232C GOT15-RS2-9P	RS-232C GOT15-RS2-9P	GOT最大接続台数 1台 最大接続距離 15m	接続先 FXシリーズ (FX1s, FX1N, FX2N) CPUポート右側端子 (FX1s, FX1N, FX2N) (機能拡張ポート (FX1s, FX1N, FX2N) を併用)
RS-422 GOT本体 画像ユニット GOT15-RS2-9P	RS-422 GOT15-RS2-9P	RS-422 GOT15-RS2-9P	GOT最大接続台数 1台 最大接続距離 30m	接続先 FXシリーズ (FX1s, FX1N, FX2N) CPUポート右側端子 (FX1s, FX1N, FX2N) (機能拡張ポート (FX1s, FX1N, FX2N) を併用)
RS-232C GOT本体 画像ユニット GOT15-RS2-9P	RS-232C GOT15-RS2-9P	RS-232C GOT15-RS2-9P	GOT最大接続台数 1台 最大接続距離 15m	接続先 FXシリーズ (FX1s, FX1N, FX2N) CPUポート右側端子 (FX1s, FX1N, FX2N) (機能拡張ポート (FX1s, FX1N, FX2N) を併用)

※2: 機能拡張ポートが必要です。
 ※3: 本編の図2-2-2の図3、三菱電機エレクトロニクス(株) (URL: <http://www.mitsubishielectric.com>) にお問い合わせください。